可茂地区家庭教育学級応援通信

可茂県事務所　振興防災課
家庭教育推進専門職　安田　早由里
〒505-8508
美濃加茂市古井町下古井 2610-1
TEL：0574-25-3111 内線 208
FAX：0574-25-3934
令和５年度　６月号

いいかも

例年より早い梅雨入りにびっくり！雨と家庭教育学級を楽しむ６月にましょう！

可茂地区トレジャーワード

家庭教育楽しさ再発見！～関わろう・学び合おう・高めよう～

美濃加茂市・可児市・坂祝町・富加町・川辺町・七宗町・八百津町・白川町・東白川村・御嵩町

５月末の梅雨入りは、これまで経験したことがありません。加えて、この時季に台風も通過し、自身が幼かった頃の気象状況と、随分変化していることを実感する日々です。蒸し暑くなっていく中で、子ども達は学校で、一学期の学びに向き合っていることでしょう。家庭教育学級も開級式（開講式）を終えた学校、もう少しで始まる学校と、動き出す様子が伝わってまいります。「こんなことをしてみたい。」「これをしなければいけない。」等、学びたいこと　と　学ばなければならないこと　をバランスよく配置し、願いを込めて作成された年間計画が県事務所に届きました。役員の皆様の、今年度に懸ける意気込みを感じています。今のその新鮮な気持ちを大切に、この一年頑張って取り組んでいかれることを応援しております。「〇月にこんな学級を開きます。」「こんな約束運動を実施しました。」等、活動の様子をお知らせください。取材をさせていただけたらと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

家庭教育学級リーダー研修会への参加、お疲れ様でした。また、アンケートにもご協力いただき、ありがとうございました。皆様からいただいたご意見を掲載します。成果と課題を分析し、次年度以降につないでまいります。

１　研修内容についてお尋ねします。本日の研修はいかがでしたか？

	幼・保・こ園	小・中学校
満足	６２％	５９％
おおむね満足	３６％	３９％
やや不満足	２％	１％
不満足		１％

２　幼稚園・小学校・中学校の実践発表はいかがでしたか？

	幼・保・こ園	小・中学校
参考にできそう	６４％	６７％
おおむね参考にできそう	２８％	２４％
多少、参考にできそう	８％	８％
参考にできそうにない		※未記入１％

※地域・園・学校によって実態が違います。全てを取り入れることは難しくても自分たちの「学級」が少しでも充実するよう、前向きに受け止めてくださっていることを感じます。

３　実践発表についてご意見・ご感想をお寄せください。

御嵩町　「学校法人　杉山第三学園　みたけ幼稚園」の実践に学ぶ

○幼稚園の特色、保護者の方と先生方との連携。様々な点でバランスを上手く取っておられ、素晴らしいと思いました。
○保護者の要望(子どもの歌など様子を見る)も汲みつつ、園のねらい、目指す姿も自然と身につく活動内容になっているので参考にさせていただきたい。
○「こんな内容の講座もあるんだ！」と勉強になりました。確かに自分の家族のものぐらい自分で縫ったり作ったりできたら素敵だなと思いました。
○子どもの持ち物の縫い物は当たり前なことだと思っていたけれど、これを親の交流会に使うことはいい事であり、物を大事にするよい機会だと思いました。
○地味だけど大変な母親の作業を、みんなとできるのはいいなと思いました！
○縫い物を親同士の横の繋がりを深める活動として位置付けたこと、大変素晴らしいと思います。子どもにとっても、世界にひとつしかない物として親の愛も感じられ、是非、参考にさせていただきたい。
○まず「楽しそう！」と思いました。他の保護者の方と交流しながら何かできるというのは貴重な機会だし、そこで学べることがあるのはありがたいなと思います。面と向かって「話し合ってください」と言われるより、何かしながら話すと話しやすくていいなと思います。

○標題を見ての想像では、「持ち物に気をつけていますか、おもちゃや不要なものが入っていませんか、危険はないですか。」、そういった内容なのかなと思っていました。しかし実践報告内容はそうではなく、持ち物に心を添えて持たせる、そういう温かい愛情とSDGsのつまった内容で、親の縫う一針一針が子どもの心を紡ぐ、という講話が心に響きました。託児を役員さんが行い、先生方の負担も考えておられ、見習いたい内容でした。
○みんながみんな裁縫が得意なわけではないので、家庭教育学級を通して自分の子どもの物を縫うことが出来るのは、素敵なことだと思いました。ただ縫うだけではなく、交流の場として保護者同士集まることが出来るのは家庭教育学級ならではだと思いました。
○地域の方に講師として参加していただいている点、保護者にとって興味ある内容の参加型という点で見習いたいと思いました。
○子育てに欠かせない裁縫を、伝統的に毎年開催しているのが素敵だと思いました。親も実際に子どもを思いながら縫い物をすることを通して、物を大切にすることの意味に気づけるのではないかと思います。また、一緒に作業をしながら自然に会話が生まれ、交流できる良さも感じました。

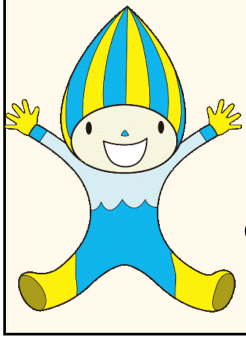
「美濃加茂市立三和小学校」の実践に学ぶ

○ICTは上手に活用すれば非常に有効だと思います。参考にさせていただきたい。
○子どもの学校での様子を映像で見ながら聞けると言うのはいいと思いました。
○ICTを活用した実践は参考になりました。本校も小規模校で範囲も広いため、お気に入りを家族と相談しながら紹介し合うのは、面白い試みだと思いました。イキイキと表現する姿が目に浮かぶようです。
○すごくわかりやすく説明していただき、活動の様子がよくわかりました。学校での子どもの姿が家で見られるのはとても良いと思いました。
○工夫してICTを使ってみえるなと思いました。本来こういう使い方がベストなのではないかと思うくらい素敵でした。近くに遊べる友達がいない、本当に親としても不安になるし、心配だと思います。良い取り組みだなと思います。
○ICTを家庭で活用するというアイデアが大変興味深かったです。タブレットの持ち味を生かしながら親子の会話の糸口になっていける方法としてとても参考になりました。親子で一緒にタブレットなどを使うことは、情報モラルにもつながると思いました。

○保護者や子ども達の希望を叶える素敵な実践だなと感じました。家庭教育学級の取組を通じて、親子や子ども同士、親同士のコミュニケーションが図れることも素晴らしいと思います。
○地域や学校の特性が明確で、活動も学校と家庭の繋がりが目に見えるほどの成果で驚きました。学校の様子を家庭で見えるというのは話題になり、保護者目線からみると、嬉しい・楽しい活動だと感じました。
○子ども達が普段使用しているタブレットで、学校の様子、家での様子を相互に伝え合うことでクラス・家庭・友人と、いろいろな場・人のコミュニケーションが増えるきっかけになると思いました。
○学校規模、地域の特色、テーマ、これまでの経緯など、独自のやり方を工夫していることが分かりました。活動の絞り込み方、期間や協力の在り方など、自校にあった方法を見つけることが大切だと思いました。

「白川町立黒川中学校」の実践に学ぶ

○「話そう！語ろう！わが家の約束」を、テーマを決めて、取り組むことで学校全体として課題に取り組む視点がよいと思いました。
○家庭の団らんをより良いものにするための活動になっていることが伝わってきました。家庭教育学級の本質はそこにあると思うので、是非、参考にさせていただきたい。
○誰もが取り組めるような工夫がなされていて、とてもいいと思いました。薬物乱用防止講座のオンデマンド視聴を家庭でという内容も、とてもいいと思いました。
○長い休みを利用して活動するのは、「なるほど」と思いました。親子でゆっくり取り組めるので、真似をしたいと思います。
○小規模校ならではの工夫が感じられました。家で、家族と一緒にご飯を作るということがとても微笑ましく、普段でも実践できたらいいなと思いました。
○普段気になっているけどそのままにしてしまっている事を、約束運動を通して話すいい機会になったと思いました。
○メディアと食の視点から家族での過ごし方を見直す計画がされているこの約束運動を、是非、参考にさせていただきたい。



○町内の講演会等にも参加されているような活動があるとのこと。自治体の活動や行事などにも目を向けてもいいのだなと、ヒントをいただいた気がしました。
○年間計画の多さも含めて、とても参考になりました。おうちご飯の取組は本当にいいと思います。わが家でも実践していますが、親子のふれあいには一番だと思いました。
○学校の特色をうまく活かしているのはもちろん、課題があるからできないのではなく、どうやってできるようにするのかを考えることが大切であることを学びました。

4　本研修で取り入れたいことは見つかりましたか？

	幼・保（所）・こ園	小・中学校
見つかった	４３％	４３％
部分的に取り入れたい	５７％	５７％
あまり見つからなかった		

※他の皆さんとの交流を有意義に感じ、今後の学級運営に活かしていきたいというご意見をたくさんいただきました。

5　本研修や家庭教育学級の運営について、ご意見・感想等があればお書きください。

○保護者も仕事をしている方が多く、運営の仕方について難しいと感じることも多々ありますが、『学ぶ』ことは親にも子にも、どんな環境であっても常に必要であるということを忘れず、活用できるものは活用し、バランスよく家庭教育学級の場を設けていきたいと思います。

○そもそも「家庭教育学級」って何？という認識でした。研修を通して、家族がすべてのはじまり、そこがすでに家庭教育学級なのだと知りました。日々の生活で忙しく、その中に、新しい取り組みとして取り入れるのは抵抗がありました。今回、具体的な活動内容を聞き「これは園の行事として取り入れると良いな、家でやってみようかな！」と思いました。そこに会話が生まれて、親と子どもの時間と空間が生まれて、愛情が伝わる瞬間がある。楽しさを発見することができる。やって見ることがまず親の学びになるのだなと感じました。

○子育ては大変なことが多いのですが、それに負けないくらい、子ども達から幸せがたくさんきます。家庭教育学級を通して子どもとの関わりを見直す良い場だと思いました。母親というのは意外と孤独な役で、子どもひとりひとり違うように親もひとりひとり違います。だからこそ子どもに対しての行動発言が難しくもあるが、家庭教育学級を通して母親同士の交流も子ども達との絆も、より深められたらいいなと思います。

○保護者や教員の負担も減らしつつ、効果のある取り組みを計画・実践していくことが大切だと思います。そのために参考となる取り組みをたくさん知るための今回のような研修はとてもありがたい。

○セッションで、保護者の主体的な参加がとても嬉しかった。地域も保護者も学校職員も主体的になれば、おのずと子どもたちも主体的になっていくと思います。

○オンライン研修ということで、遠方に出向くことなく研修会に参加できたことがよかった。実物をその場で見せてもらうこともできました。

○家庭教育学級を、授業参観日に組み込んでいる学校が、どのような日程で行っているのか聞きたかった。学校行事と組み合わせることにより参加率が 90%と高くビックリしました。最初は緊張していましたがこの研修に参加でき、他校の取組についても知ることができました。

○今回の研修会で、他の小中学校の教頭先生やリーダーさんと直接お話しし、色々な取組やご意見を交換する事ができました。とても有意義な研修会でした。

○正直なところ家庭教育学級の存在や目的等の理解が PTA に周知されていないように感じます。本日、研修会に参加し、子育てにおいて大変参考になる内容だったので、これを知らないのは勿体無いと思いました。まずはこの存在を PTA に知ってもらうために何をすれば良いのか考えたいと思います。

●なかなかじっくり計画を考える時間がなく、後から「そうすればよかった。」と思うことがあります。仕事を持つ保護者や、様々なこととの絡みなど考えると計画を立てることに難しさを感じます。そうすると代わり映えしない計画になりがちになってしまいます。特にこのコロナの間の三年は大変さがありました。

●学校規模によって取組内容や運営の仕方に違いがあるので、同じくらいの規模の学校同士の交流でもよいかなと思いました。

●交流の時間がもう少し多くあった方がよいのではないでしょうか。

●父親の子育てについての意識が高まってきているが、何をしたらよいかわかならいという課題があるように感じました。

ご協力ありがとうございました。思いを届けてくださったことに感謝します。次年度以降も、一層充実した研修会になるよう、いただいたご意見をつないでまいります。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

家庭教育学級の訪問・取材、お願いします。伺います！